

みなさんこんにちは。

千葉市広報番組「ちば情報 clip」山口真孝です。

この番組では、千葉市からのお知らせや暮らしに役立つ身近な情報をお送りしています。

さて、8 月前半号、はじめは、「ちば市政だより」の記事を紹介していく「広報かわら版」です。

お持ちの方は、ぜひ、お手元に置いて番組をご覧ください。

それでは、「ちば市政だより」8月号の注目記事を見ていきましょう。

まずは、1面です。

『暑い夏より、もっと熱い応援を！』

先月号に続いて今月号も躍動感あふれる

千葉市にゆかりのあるアスリートのみなさんの写真です。

熱い応援を届けましょう！

ということで、最初の特集です。 12面 13面をご覧ください。

「まだまだ魅力がいっぱい！ ゆかりのスポーツチーム  
パート2」です。

千葉市には、ゆかりのスポーツチームがたくさんあります。

前月号から引き続き、その魅力を紹介します。

ぜひ、地元のチームの魅力を知って応援してください!!

はじめは、天皇杯では3連覇中!!悲願のBリーグ優勝を  
目指す千葉ジェッツふなばし です。

千葉ジェッツふなばしは、千葉市をフレンドリータウンと  
する男子プロバスケットボールチームです。千葉ポートア  
リーナでも試合を行っています。

イチオシ選手として、日本代表への選出や日本人として  
2人目となるNBAとの契約を結んだ実績を持つ、ポイン  
トガードの富樫勇樹(とがし ゆうき)選手を紹介していま  
す。

また、番外編として、B.LEAGUE MASCOT OF THE YEAR を 3 年連続受賞し、殿堂入りしたクラブのマスコット「ジャンボくん」も紹介しています。

続いては、多くの日本代表選手を輩出する国内有数のトライアスロンクラブ稲毛インターナショナルトライアスロンクラブです。

イチオシ！選手として、蘇我小学校出身で、力強いスイムが魅力の秦 由加子（はた ゆかこ）選手を紹介しています。

秦選手は、13歳の時に骨肉腫を発症し、義足での生活を送るようになりますが

幼少時代に取り組んでいた競泳を2008年に再開。

その後、トライアスロンへ転向し、2016年には、リオのパラリンピック代表に選ばれています。

そして、155cmの小柄な体からは想像できない爆発力が魅力の上田 藍（うえだ あい）選手です。

上田選手は、2008年から3大会連続でオリンピックに出場するなど、長年にわたって日本トライアスロン界の第一人者として活躍しています。

次は、なでしこリーグ1部に所属する、ホームタウンチーム。ジェフユナイテッド市原・千葉レディースです。

ジェフレディースは、千葉市と市原市をホームタウンとする女子サッカークラブです。

2017年に、なでしこカップで初優勝。「走る、闘う」を合言葉に練習に励んでいます。

イチオシ！選手は、千葉市出身のディフェンダー市瀬千里（いちのせ ちさと）選手です。

U-16、U-19日本女子代表にも名を連ねた、チームの将来を担う若手選手で、ロングキックを得意とし、最終ラインからチャンスを作るところが魅力です。

次は、史上最多となる 7 度の日本選手権優勝を誇る!!  
オービックシーガルズ。

オービックシーガルズは、習志野市を拠点とする 社会  
人アメリカンフットボールチームです。

イチオシ！選手は、ワイドレシーバーの木下 典明(きの  
した のりあき)選手。

木下選手は、5歳から始め、今年でアメフト歴33年。ヨー  
ロッパやアメリカでも活躍し、日本代表に5度選出されて  
いるチーム最年長プレイヤーです。

また、番外編としてチームマスコットの「しーがるくん」も  
紹介しています。

最後は、日本代表候補選手も所属!!女子チームは昨年、  
日本一に輝いたバルドラル浦安です。

バルドラル浦安は、日本フットサルリーグ(Fリーグ)に  
参戦しているフットサルクラブです。

1998年、明海大学サッカー一部OBを中心にチームが結成され、2007年からFリーグに参加しています。

イチオシ！選手は、U-20 フットサル日本代表を経験し、昨年、フットサル日本代表候補にも選出された

石田 健太郎(いしだ けんたろう)選手。

そして、サイドでの1対1から得意のドリブルで相手を崩す事が魅力の長坂 拓海(ながさか たくみ)選手です。

ゆかりのスポーツチーム、みなさん応援宜しく願います！

続いては8面をご覧ください。新型コロナウイルス感染症対策予算です。

千葉市では、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、補正予算を組むなどして、さまざま

な対策に取り組んでいます。対策のための費用は、6月22日時点で約1,128億円です。

引き続き、感染拡大を防止し、市民生活の安心・安全を確保するための対策を強化するとともに、新たな日常に

対応した施策を検討・実施していきます。

感染拡大防止対策として、「社会福祉施設等の感染拡大防止対策」をするほか、「テレワーク推進」や「行政のオンライン化推進」などを実施しています。

また、医療提供体制の確保として、「病床確保・軽症者等の宿泊療養施設の確保」や、「ドライブスルー検査の実施」を行ってます。

医療従事者などの支援として、「医療・介護従事者等支援金・慰労金」を支給していきます。

続いては9面をご覧ください。市民生活への支援です。市民の皆さんの暮らしを守るため、家計への支援、相談体制の強化、学習機会の確保や教育の充実を図ります。

家計への支援として、

特別定額給付金のほか、住居確保給付金や子育て世帯への臨時特別給付金などで、支援を行います。

教育の充実・学習機会の確保としては、

子どもたち1人1台の学習用端末を整備する、「GIGA(ギガ)スクール構想の実現」をはじめ、児童生徒一人ひとりへのていねいな学習指導・教員の負担軽減のため、指導員、スタッフを配置する、「学習指導員、スクール・サポート・スタッフの配置」などを行っていきます。

生活の不安や悩みへの相談体制の強化では、

新型コロナウイルス感染症に関する相談を24時間体制で受けるため、相談窓口を設置・運営する

「帰国者・接触者相談センター、市民向け電話相談窓口」

や心のケア支援などを実施しています。



そして、妊産婦への支援として、不安や孤独を抱える妊産婦に対し、分娩前PCR等検査費用助成、寄り添い型相談支援、保健指導などのオンライン化を実施していきます。

事業者への支援としては、「事業継続の支援」「働き方改革・生産性向上への支援」を行い、市内消費を喚起し、活力ある千葉市を守ります。

さて続いては、市内で行われた出来事などを紹介する「映像トピックス」のコーナーです。

今回は、7月11日にリニューアルオープンしました 千葉市美術館をご紹介します。

さて次回、後半号では、チーター・ブチハイエナ展示場がオープンしました

「千葉市動物公園」をご紹介します。是非、お見逃しなく。それでは、今回の「ちば情報 Clip」はこのへんで失礼します。